

会議録：「令和1年度第2回恵那市産業振興ビジョン検討部会（商業・観光部会）」

日時：令和1年10月18日（金）10：00～12：00

場所：恵那市役所会議棟大会議室

参加者：別紙参照

1. 開会

事務局：「6月に第1回恵那市産業振興会議、8月に第1回恵那市産業振興ビジョン検討部会を開催し、必要な取り組みを議論いただいた。議論の内容を踏まえ、今後実施していくべき事業をまとめた。これまでDMOとして取り組んできた事業を地域商社事業（DMO）として実施していく予定をしている。本日はそれらの事業について議論いただきたい。」

2. 報告事項

事務局：資料①により、これまでの経過とR2年度の主な取り組みについて、各部会の課題とR2年度の新規事業を説明。資料②により、全部会に関係する地域商社事業（DMO）を説明。

3. 検討事項

事務局：「ここからは各部会に分かれて進行する。担当職員が新規事業を中心に取り組み内容を説明するので、各事業の内容の議論をいただきたい。まず、資料①を詳しく説明する。その後、各事業の内容について、資料③を使って説明する。全ての説明を行ってから、意見をいただきたい。資料①により、これまでの課題と前回までの検討部会での主な意見、意見を踏まえ早速取り組んでいる内容について説明。さらにR2年度の事業構成を説明。別紙『恵那市観光ビジョン策定検討会』を説明。現在、『市民が誇りをもち、郷土愛を深めながら、観光産業を育成し域外からの外貨を獲得できる、持続可能な観光地づくりを行う』ためアクションプランをまとめている。資料③により、R2年度事業の内容を説明。R2年度の事業を説明したが、意見はあるか。」

<主な意見>

《今後取り組むべき事業案について》

- ・スポーツツーリズムの事業内容に「スポーツ合宿の誘致」とあるが、市の施設の予約は1ヶ月前でないとできないので合宿の予約を受け付けられない。芝生グラウンドも少ないのでスポーツ施設を充実すべき。
- ・ポートといってもマーケットはあるのか。取り組むなら裾野の広いスポーツの方がいい。
- ・郷土愛醸成とあるが、郷土ではない人への取り組みも必要。
- ・事業はたくさんあるが、マーケティングがしっかりできていない。誰に何を（売る）のかははっきりしていない。
- ・事業承継については、儲からないから引き継がないのが原因。
- ・日本の食は安すぎる。野菜などの原材料費は上がっているのに、販売価格は上らな

い。

- ・全体的に儲からない仕組みになってしまっている。地元の農家も頑張って良い野菜を作っているが高いので使えない。インフレ率を2%に上げる取り組みが必要。
- ・US ビーフなどは市内商店では流通していない。流通が少ないので恵那市で買うと高い。
- ・(事務局) 観光に関しては、ターゲットはインバウンドと国内では東海エリア。またスポーツは取り組みやすいので、スポーツ観光でのノウハウを食や歴史資源の活用につなげたいと考えている。
- ・市はインバウンド対策ができていない。高山などでは海外出張に商工会議所が補助金を出してくれる。
- ・(事務局) 県では毎年台湾に観光PRに行っている。
- ・そのような事業は旅行客に対して恵那市や岐阜県など「エリア」をPRしているものであって、事業者(商品)をPRするものではない。事業者が行ってもお金にならないイベントに行政が行ってPRしてほしい。
- ・台湾で観光客向けイベントがあるなら参加したい。
- ・恵那市単独でインバウンド誘致のイベントをやってもインパクトが小さいので、昇龍道プロジェクトのようなものに参加できるといい。
- ・高山などは外国現地でラッピングバスを走らせてPRしている。
- ・民泊の件数は増えているのか。
- ・(事務局) 明智や中野方では増えてきているがキャパとしてはそれほど増えているわけではない。
- ・インフラの整備も地域商社で取り組むべきと考える。
- ・WRCはどれくらい恩恵があるか。
- ・宿泊がどれくらいあるか不明。スペシャルステージも設置するらしいので、どう生かすかを考えている。
- ・ラリー教室などができれば継続的な効果が期待できる。
- ・キャッシュレス決済の比率が大きく上昇している。その分、店舗側は決済手数料の負担が増えるし、手元に現金が残らないので支払いに苦労する。働き方改革推進で労働時間も増やせない。売上を増やせない状況になっている。
- ・ニューヨークに行ったが、食事が高い。日本は美味しい料理が安く食べられるからインバウンドが来る。
- ・事業者からはキャッシュレス還元事業が終わる9ヶ月後には売上が下がると予想していると聞く。その際にまた課題が出てくると思われる。

《事業化されていない課題への対策について》

- ・(事務局) 今回説明した事業について他に意見はないか。
- ・これだけの事業ができればすごいと思うが、儲かるようにするためにインフレ率を上げることが必要。

《先進地視察について》

- ・(事務局) 会議室での議論だけでなく先進地視察してアイデアを出すことも必要だと意見をいただいた。計画したいと思うが希望の視察先や時期はあるか。
- ・祭りは大きな軸になると思うので、歴史のある祭りをやっている場所。恵那市と同じ

くらいの規模の町がいい。

- ・(事務局) 年末は忙しいと思うので年明け2月以降で計画してみる。

4. 次回検討部会の開催について

事務局：「次回は R2 年度へ向けた事業の最終的なまとめの回として年明け2月頃を予定している。」

5. 閉会

■まとめ

<スポーツツーリズム推進事業について>

- スポーツツーリズムの事業内容に「スポーツ合宿の誘致」とあるが、市の施設の予約は1ヶ月前でないとできないので合宿の予約を受け付けられない。芝生グラウンドも少ないのでスポーツ施設を充実すべき。
- 裾野の広いスポーツに取り組む方がいい。

<観光関連事業について>

- 市はインバウンド対策ができていない。高山などでは海外出張に商工会議所が補助金を出してくれる
- 事業者が行ってもお金にならないイベントに行政が行って PR してほしい。
- 恵那市単独でインバウンド誘致のイベントをやってもインパクトが小さいので、昇龍道プロジェクトのようなものに参加できるといい。

<郷土愛醸成事業について>

- 郷土ではない人への取り組みも必要。

<事業承継支援事業について>

- 事業承継については、儲からないから引き継がないのが原因。

<事業全般>

- マーケティングがしっかりできていない。誰に何を売る(売る)のかはっきりしていない。
- 野菜などの原材料費は上がっているのに、販売価格は上らない。全体的に儲からない仕組みになってしまっている。物価を上げる取り組みが必要。
- キャッシュレス決済の比率が大きく上昇し、店舗側は決済手数料の負担が増えている。働き方改革推進で労働時間も増やせない。売上を増やせない状況になっている。
- キャッシュレス還元事業が終わる9ヶ月後には売上が下がると予想。